



## 言語学の知見を活かした英文法指導法の開発と実践

教育学部 教授 縄田 裕幸

現代言語学は人の言葉について多くの事実を掘り起こし、その仕組みを明らかにしてきました。それらの知見の中には外国語の指導や学習に有効なものも数多く含まれていますが、実際に英語の教科書や参考書に反映されているのはわずかにすぎません。また、AIによる翻訳が飛躍的な発展を遂げている現在、たくさんの単語や文法規則を暗記して英語を学ぶ意味はいったいどこにあるのでしょうか。

縄田研究室では「英文法をもっと面白く」というテーマのもと、言語学の知見を専門家でない学習者がアクセスしやすい書籍の形にまとめるとともに、学生の卒業研究や教育実習などで教材や授業実践として英語教育に「橋渡し」することを試みています。言語の本質に基づいた英語学習は、私たちが知的興奮の世界へといざなうだけでなく、ことばに対するより深い理解につながっていくはずです。

